

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	学校林を活用した体験林業の実施(継続)
流域名	富士川上流域
実施箇所及び実施日	<p>山梨県甲府市和田 国有林 1 林班 平成22年6月～平成22年11月</p> <p>山梨県甲府市十二天 国有林 3 林班 平成22年6月～平成22年10月</p> <p>山梨県甲府市板垣 国有林 3 1 林班 平成22年6月～平成22年11月</p>
取組の背景及び必要性	<p>分収造林(学校林)契約している箇所に平成13年度から森林環境教育の場として活用出来るように「遊々の森」協定を締結し、学校林運営委員会を立ち上げ、活動エリアの整備をしてきている。</p> <p>学校の総合的な学習時間を活用して、学校林及び遊々の森において、森林環境教育や体験林業等を実施している。</p>
取組の内容	<p>学校の総合的な学習時間を活用して、学校林及び遊々の森で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲府市立相川小学校では、5年生73名が6月に学校林の探索及び秘密基地づくり、10月にネイチャーゲーム、11月に間伐体験を実施した。 また、学習指導要綱の改正で総合的な学習時間減少が今後見られるため3、4年生164名に対し、学校林の探索や植物観察会を実施した。 ・甲府市立里垣小学校では、5年生64名が6月に学校林の探索及び植樹体験、10月に植物観察、11月にネイチャーゲーム及び間伐体験を実施した。 ・甲府市立北中学校では、1・2年生217名が6月に自然学習会及びきのご圃場整備・下刈り体験、10月に林業体験として間伐作業・下刈り作業・箸作り作業と体験し、午後に森のコンサートを開催した。
国有林担当部局・役割	山梨森林管理事務所 企画の助言・体験林業等の講師
連携協働相手先・役割	山梨県・甲府市・オイスカ山梨県支部・PTA・大学の教授 企画の助言及び体験林業等の講師

【 参 考 資 料 】

取 組 名 学校林を活用した体験林業の実施(継続)

学校林の探索
(相川小3・4年生)



間伐体験
(相川小5年生)

森のコンサート(北中)



平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	里山的広葉樹林の活用(継続)
流域名	富士川上流
実施箇所及び実施日	山梨県甲府市 和田国有林 1林班 (甲府自然休養林内)
取組の背景及び必要性	第3次アクションプログラム策定の際に把握した流域からの要望に応え、森林整備した里山的広葉樹林を活用し、学校等を対象に森林環境教育を実施する。
取組の内容	<p>1 国有林に対する流域住民の里山的広葉樹林の造成要望に応えるため、マツクイムシ被害地の一画を整備し、侵入した広葉樹の保育の刈り出し及びアカマツ等危険木の処理を実施した。</p> <p>2 里山的広葉樹林のエリアを相川小のネイチャーゲーム等のフィールドとして活用した。</p>
国有林担当部局・役割	山梨森林管理事務所 企画の助言
連携協働相手先・役割	相川小学校・山梨県甲府市・オイスカ山梨県支部 企画の助言、現地指導

【 参 考 資 料 】

取 組 名	里山的広葉樹林の活用(継続)
-------	----------------

フィールドを活用したネイチャーゲーム
(相川小5年生)



平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	企業等の森林整備活動の推進(継続)
流域名	富士川上流
実施箇所及び実施日	山梨県甲府市下積翠寺町 大日影国有林 23林班 平成22年3月・10月
取組の背景及び必要性	地球環境保護に対し関心が高く、環境貢献事業として森林整備・保全活動に参加を希望していた「甲府商工会議所・財団法人オイスカ山梨県支部」とふれあいの森の協定を締結した。
取組の内容	「甲府商工会議所の森」として平成22年3月に協定を締結し、甲府商工会議所・財団法人オイスカ山梨県支部の会員(約50名)で森林整備(歩道整備・植樹・下刈)を実施した。
国有林担当部局・役割	山梨森林管理事務所 森林整備・保全活動の企画助言及び技術支援
連携協働相手先・役割	甲府商工会議所・財団法人オイスカ山梨県支部 体験林業の企画及び参加者の募集

【 参 考 資 料 】

取 組 名	企業等の森林整備活動の推進(継続)
-------	-------------------

植樹会場



植樹



平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	森林作業道作設現地検討会(新規)
流域名	富士川中流
実施箇所及び実施日	山梨県南巨摩郡南部町上佐野 上佐野国有林 平成22年12月2日～3日
取組の背景及び必要性	<p>森林整備を効率的に推進するためには、森林作業道を活用した木材の集材・搬出が有効であるが森林作業道の作設は、地域の地形・地質等を踏まえる必要がある。</p> <p>このため森林作業道の線形や手法、作設の考え方を共有し、技術的な知見の蓄積を図るため現地検討会を開催することとした。</p>
取組の内容	<p>間伐予定箇所において、搬出方法として路網作設に当たり、四万十式路網作設を検討することになり、四国より田辺先生を招致し、伐出請負箇所にどのように搬出路をつくって良いか現地で実際に重機により作業しながらご指導をお願いした。</p>
国有林担当部局・役割	山梨森林管理事務所 検討会企画・実施
連携協働相手先・役割	田辺由喜男 重機による指導

取 組 名 森林作業道現地検討会(新規)

講師による現地指導



講師による講義

